

旧山形県庁舎

江戸時代の幕藩体制から明治政府の誕生と共に廃藩置県が進み、47 都道府県（都が東京都の 1、道が北海道の 1、府が京都府、大阪府の 2、県が 43）へと段階を経て今日に至っている。

現在の山形県が成立したのは 1877（明治 9）年。直ちに山形県庁舎・県会議事堂が建設された。しかし明治 44 年 5 月の山形市北大火により焼失してしまう。そして大正 5 年に現在の旧県庁舎及び県会議事堂が完成し、昭和 50 年まで使用されている。

ここは英国近世復興様式を基調とした実に重厚な見事な建物で、県のシンボルとして長く山形県の誇りであった。今では国の重要文化財に指定されると共に、郷土の歴史や暮らしの展示コーナーを設け、議場ホール、ギャラリー、会議室の貸し出し等、文化の振興を図るため「山形県郷土館」

（愛称：文翔館）として解放されている。

四季折々の美しい変化に恵まれた地形を持つ山形県。その歴史の中で誇るべき物の一つに「くだもの王国やまがた」がある。全国生産量第 1 位のさくらんぼ、ラ・フランス。3 位のブドウ、スイカ。4 位のリンゴ、李、メロン。6 位の桃。9 位の柿。年齢を重ねるとともに果物が大好きになった私。山形県で暮らせばこれら素晴らしい味覚を味わうことで、人生の喜びと楽しみが何倍にも膨れることになるであろう。



撮影 2014 年夏

